

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 企業の概要

企業・団体名	株式会社ショーケース	本社所在地	東京都
業種	情報通信業	総従業員数	88名
事業概要	「おもてなしテクノロジー」を用いたSaaS、DX支援開発		

## テレワーク実施概要

雇用上の規定	リモートワーク勤務規程
テレワーク担当部署	コーポレート本部
テレワーク対象者	全社員
実施者数	88名
平均実施日数	月12回以上16回未満程度(概ね週3~4回)

## テレワークの導入・拡大の経緯

- 2005年よりリモートワークを導入、従業員の働き方や必要性に応じて活用
- 2020年2月25日より新型コロナウイルス感染症対策のため全従業員を対象にリモートワーク・フルフレックス勤務体制へ移行
- その後、従業員のライフイベントなどの働き方に合わせ、ハイブリッド勤務形態や地方在住型ワークなどテレワークを拡大し現在に至る

## テレワークの概要・特徴

- リモートワーク手当: 月2万円を全社員に継続支給しながら、働く場所+時間を選ばない全国フルリモートワーク+フルフレックス勤務が可能な働き方
- リモートワークを軸にした、社内手続きのオンライン化およびペーパーレス化
- 月2回の全大会、バースデーパーティー、全社総会での運動会などをオンラインで実施することで、リモートワーク環境でもエンゲージメントを維持
- 自社のリモートワークに関するノウハウ公開やウェビナーを開催することで、他社のリモートワーク推進を後押し  
リモートワーク率30%→95%を達成したプロセスの全貌  
<https://note.com/showcase/n/n5946c776c671>
- テレワークのノウハウを活用し、ハイブリッド型バーチャル株主総会を開催

## テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

- 営業活動のDX化によるビジネス革新  
→2020年12月期の通期決算を営業利益・純利益の黒字着地
- 東京都主催: 第1回TOKYOテレワークアワードの大賞受賞による企業価値向上  
→テレワークの取り組みに対する外部評価、BCP・働き方改革における企業価値の向上
- 勤務場所を選ばない全国フルリモート採用およびフルリモート勤務の推進  
→パートナーの転勤、親の介護、子育てなどに臨む社員を地方在住型リモートワークでキャリア継続支援  
※愛媛県・山形県(2022年4月~)への移住実績あり  
※福岡在住の社員をフルリモートで採用実績あり